



園だより 11月号

和歌山市立西和佐幼稚園
園長 高石 知都
令和 5年 11月号

秋の深まりと共に、色づいた木の葉が散り始め、冬の足音が近づいて来ているようです。

先日の自然博物館、四季の郷公園の遠足では、全園児で大水槽やたくさんある海の生き物の小さな水槽、ふれあいコーナーなどゆったりと楽しんで過ごすことが出来ました。きく組さんは、大水槽のバックヤードツアーの体験をし、大きな水槽の裏側を見ることが出来ました。また、四季の郷公園では、おうちの方が作ってくれたおいしい弁当をいただき、子供たちの顔もニコニコ笑顔でした。各クラスでしたい遊びを楽しんで帰ってきました。今回は子供たちにとって初めての大型バスでの遠足となりました。行きは、かわいいつぶやきがたくさん聞かれ、バスの中はとても楽しそうな様子でしたが、帰りのバスでは、バスが動き出した途端、3歳児が全員眠ってしまいました。とっても静かなバスが一日の終わりのようでした。保護者の皆さまも、朝早くから弁当を作っていたり、バスを見送り迎えてくださったりありがとうございました。子供たちは、普段とは違う特別な楽しい時間を過ごすことが出来たことだと思います。

朝夕寒くなり、風邪のはやりやすい季節となりました。様々なウイルスにこれからも留意し、健康に過ごすためにしっかりと食べて十分な睡眠をとるようにしてください。疲れがたまると体調を崩しやすくなります。保護者の皆様をお願いします。子供たちのために規則正しい生活をして病気に負けない体づくりを心がけてほしいと思います。



☆お知らせとお願い☆

◎ 11月は開放週間(きのくに学びの月間)があります。

11月6日(月)～11月10日(金)

この期間のうちで、保護者様1日1時間の参観とさせていただきます。(期間中は何度来ていただいても結構です)ご家族での人数制限はありません。普段見れないお子様の活動の様子をゆっくりとご覧ください。また、開放週間と同時に遊戯室にて幼稚園展も行います。

◎ 令和6年度新入園児募集願書交付と願書受付を行っています。

近所に該当のお子様がいましたら、ぜひお知らせください。

願書受付は11月1日(水)～17日(金) 9:00～16:30 までです。

展望台から西和佐の町が見えたよ。

昔のお家の中、
「これなんやろ
なあ」



遊んだあと、おやつ
もいただきました。



自然とのかかわり

(地域の良さに触れる 紀伊風土記の丘)

毎年行っている園外保育に「紀伊風土記の丘」の秋見つけがあります。園外保育の良さとして、普段の生活から少し離れ、特別感のある活動になっていると考えています。紀伊風土記の丘は、自然に満ち溢れ、「五感を育てることが出来る」と考えています。絵本やお話で聞く「昔のおうち」に実際入り、中にあるものを見たり、その場その場のおい、感触なども体験し、五感はあるうちに育っているのではないかと思います。大人にとっては何気ない自然環境も子供たちにとっては「好奇心の対象」になります。

また、「社会のルールを守る」ということも良さの一つと捉えています。普段、園内でも自分たちが不都合を感じると、自然とルールができて、危険なことに関しては保育者が約束を提案することもあります。園の外に出ることで、自分が社会の中で生活していることを知り、少しずつでも社会のルールを学ぶことが出来ると考えています。園外保育では、多くの方々と触れ合うことで、コミュニケーション能力も身につけるきっかけになると考えます。

私たちの地域にある「紀伊風土記の丘」は、小学校に行ってもたびたび訪れる、これからも馴染みの深い場所になって行きます。小学校では、西和佐活動として、全児童でウォークラリーをしたり、資料館や竪穴式住居の見学、埴輪作りや勾玉作りもするそうです。幼稚園でも、毎年楽しみにしている5歳児の埴輪作りも今年はお家の人と一緒に楽しみたいと考えています。どんな埴輪ができるかとても楽しみです。

地域に親しみをもち、体験を引き継いでいくことが出来る西和佐地区はとても素敵だと改めて感じました。